



未来につなげる10の質問

学校教育課 ☎(88)9168



市のまちづくりなどを質問した中学生議員の皆さん

1月26日「中学生による模擬議会」を開催しました。各中学校の代表生徒が議員となり、ふるさと須賀川への思いを込めて質問をしました。中学生議員の皆さんは、議会を体験することで市の施策やまちづくりに関心を含め、議会や政治の仕組みを学びました。質問と市の答弁の概要を紹介いたします。



皆さん自信を持って挙手し、質問しました

番号	氏名	学年	学校名
13	芳賀絆生	2	小塩江中
14	相楽陽愛	1	
15	影山裕惶	2	仁井田中
16	岡部妃花	1	
17	海老沼碧	2	大東中
18	荻野瑞雪	2	
19	新妻誠曜	2	長沼中
20	深谷結依	1	
21	柳沼暖佳	2	岩瀬中
22	太田凜	2	
23	佐藤駿宇	8	稲田学園
24	大河原未来	8	

番号	氏名	学年	学校名
1	坂本華	2	第一中
2	鈴木京太郎	2	
3	長坂美緒	1	第二中
4	阿部妃麻里	2	
5	熊田心	2	
6	沼田結愛	1	第三中
7	西澤里紗	2	
8	関根かれん	2	西袋中
9	釋理恵	1	
10	大石悠叶	2	
11	穴戸千明	2	
12	若月美桜	1	



第一中 坂本華さん



第二中 阿部妃麻里さん



第三中 西澤里紗さん



西袋中 大石悠叶さん

商業振興について

Q 商業振興のために行っている取り組みを教えてください。

A ウルトラマンやポーターなどを活用した商品開発への支援、商店街が取り組むイベントなどへの支援、新規出店者への支援を行っています。tette内チャレンジショップでは、これまでに6人が出店し、3人が市の中心街などへ移転・開業しています。

Q 今後、文化施設を生かした商業振興にどのように取り組めますか。

A tetteや風流のはじめ館などを訪れた人が、周辺の商店などに立ち寄りやすいと思えるよう、各店の魅力向上や空き店舗への新規出店を推進していきます。また、公共施設の民間活用など、商店街や市民の皆さんと力を合わせながら、にぎわい創出を図っていきます。

環境美化について

Q ポイ捨てごみの回収とそのリサイクル状況を教えてください。

A ボランティアによる回収をはじめ、市へ連絡があった場合や、パトロールなどで見付けた場合には、市が直接回収しています。回収したごみは、衛生センターへ搬入後、分別され、瓶類や金属類などは、それぞれの専門業者に売却し再生利用されています。

Q ポイ捨てごみを減らすための対策を教えてください。

A 「須賀川市空き缶等のポイ捨て防止条例」を制定し、市民一人ひとりの公共心の醸成のため、広報すかがわや市ホームページ、看板などで周知・啓発をしています。また、環境問題に関心を持ってもらえるよう、小学校で出前環境講座などを積極的にを行い、市民の環境意識の向上に努めています。

体育施設の廃止について

Q 牡丹台水泳場の廃止の経緯について教えてください。

A プールの耐用年数は、一般的に30年とされ、牡丹台水泳場は建設から45年が経過し、経年劣化が進んでいます。施設を継続して利用するためには、改修工事を含めた維持管理費用が必要となり、施設を解体し更地にする費用を上回ります。また、少子化や水泳人口の減少で、利用者の増加が見込めないことなどが想定されるため、廃止することとなりました。

Q 廃止後の跡地利用や周辺施設の整備はどのように進めていますか。

A 水泳場廃止後の跡地は、牡丹台運動公園の一部として、各利用団体などの意見を参考にしながら、野球場や庭球場などの充実を図るなど有効に活用していく考えです。

学習支援の制度について

Q 英検支援事業の目的や成果について教えてください。

A 実用英語技能検定支援事業は、英語に対する興味・関心を高め、英語教育の一層の充実を図ることを目的に、10月に各学校を会場として行われる2級から5級までの英語検定の受験料を公費負担するものです。過去3年間で本市の中学生の約9割が受験し、合格者が約7割を占めるなど、英語力の向上に役立っていると考えています。

Q 検定の補助事業をほかの検定にも適用するなど、補助事業を拡充する予定はありますか。

A 英語検定で自らの目標を達成した生徒が、ほかの検定を選択できるなど、皆さんの学習意欲の向上につながる方法を調査研究していく考えです。



小塩江中
芳賀絆生 さん

SDGsへの取り組みについて

Q 市の取り組みと今後の推進について教えてください。

A SDGsの考え方を市民の皆さんに広めるため、広報などがわなどで、17のゴールや身近に取り組める事例を紹介しています。

市内の中学校や高校での出前講座のほか、商工会議所などの関係団体と連携しながら、事業者向けの研修会を開催するなど、市全体でSDGsの取り組みを推進していきます。

Q 「my mizu」の取り組みをどのように考えていますか。

A my mizuは、ペットボトル類の消費削減や、CO2排出削減量を確認できるなど、環境問題への意識向上が期待できます。本市でも機会を捉え、my mizuを含めたSDGsの取り組みを皆さんに周知していく考えです。

※my mizu 世界20万カ所のカフェや公共施設など、無料で給水できる場所を探せるアプリ



仁井田中
影山裕惺 さん

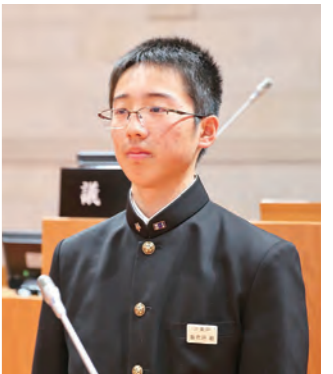
観光活性化について

Q 観光業における新型コロナウイルス感染症の影響を教えてください。

A 市の観光施設および観光イベントの入込客数は、感染拡大前の令和元年度が72万8437人だったのに対し、2年度は13万7161人と減少しており、市内の店舗や宿泊施設は大きな経済的損失を受けました。

Q コロナ禍でどのように観光ピーアールに取り組めますか。

A 観光情報誌「まっふる須賀川」や観光パンフレットの作成、市ホームページや市公式SNS、観光情報を提供する民間事業者のウェブサイトを活用した情報発信、報道機関への情報提供によりピーアールしています。今後は今以上に、インターネットを活用した情報発信を強化していきます。



大東中
海老沼 碧 さん

災害対策について

Q どのような災害対策が行われているか教えてください。

A 公共施設などの耐震化に加え、耐震性緊急貯水槽や防災行政無線(市内約200カ所)を設置しています。また、緊急避難場所を112カ所、避難所を102カ所確保しています。さらに、各町内会や行政区単位での自主防災組織の設立促進に努め、市町村や民間事業者との間で43の災害時応援協定を締結し大規模災害に備えています。

Q 避難所における感染症対策はどのように考えていますか。

A 避難者1人当たり3・3平方メートル程度を確保した配置に努め、状況に応じてパーティションや段ボールベッドを配置する考えです。また、避難所内で発熱の症状が見られる人を隔離するための専用スペースを確保します。



長沼中
新妻誠曜 さん

ふるさと納税について

Q ふるさと納税の現状について教えてください。

A 令和2年度の寄附受入額は4657万8078円、寄附件数は4227件、返礼品登録数は、令和4年1月5日現在で254品目です。

また、本市を応援して下さる皆さんからの貴重な寄附金は、美しいふるさとづくりを推進する事業に活用しています。

Q ふるさと納税の返礼品はどのように決めていますか。

A 返礼品は、市内で生産・加工・製造されたものなど、総務省が定める地場産品基準に該当するもので、本市の特産品や観光ピーアールといった地域産業の振興につながる要素を持つ商品・サービスであるかなどを総合的に検討し、返礼品を選定しています。



岩瀬中
柳沼暖佳 さん

高齢化社会への対応について

Q 介護施設の拡充や介護職員の増員に対する支援について教えてください。

A 必要な介護施設は民間活用により整備を進めています。介護職員の増員は、市主催の就職説明会などを行って支援していきます。

Q 高齢者施設と幼児向け施設の併設など、高齢者と若い世代が交流できるような計画はありますか。

A 高齢者と子どもとの交流によって様々な効果が得られるため、民間との連携の中で国の整備基準など諸条件がそろう場合には、検討したいと考えています。介護が必要とならないよう介護予防事業に重点的に取り組み、高齢者が住み慣れた場所で自立した生活が送れるよう支援していきます。



稲田学園
佐藤駿宇 さん

公共施設について

Q 公共施設でのトイレのバリアフリー化の現状を教えてください。

A 市庁舎やtetteの整備時に「みんなのトイレ」としてベビーカーや、開閉式のおむつ交換台、介護用呼出ボタンなどを備えた多目的トイレを整備しました。また、岩瀬市民サービスセンターに新たに設置したほか、文化センターの改装時に「みんなのトイレ」を1カ所から3カ所に増設しました。

Q 学校の多目的トイレの整備をどのように進めていきますか。

A 現在、25校中16校の学校に多目的トイレが整備されています。今後は、施設の大規模改修や改築の機会に合わせて計画的に整備していきます。



⑥文化センター「みんなのトイレ」



⑤介護予防を目的とした「ウルトラ長寿体操」



④魅力的な返礼品で市をピーアール



③市防災訓練



②伝統行事「松明あかし」



①リサイクルなどについて学ぶ環境学習講座